



ときめきスマイル

2024年 7月号

2024年 7月1日発行
いばらきコープ総合企画室
〒319-0102 茨城県小美玉市西郷地 1703
☎ 0120-160-231
ホームページ ▶ [いばらきコープ](#)

「第37回通常総代会」を開催しました ～理事長ごあいさつ～



組合員の皆さまの日頃のご利用、ご協力に感謝申し上げます。

まずは、1月1日に発生した能登半島地震により犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

6月12日に水戸プラザホテルにて第37回通常総代会が執り行われ、全議案が可決されました。また、役員改選が行われ、新たな役員体制となり、役職員一同決意を新たに、いばらきコープ発展のため専心努力する所存でございます。

「ともに はぐくむくらしと未来」の理念を掲げ、組合員のふだんのくらしに貢献するとともに、地域社会から信頼される生協づくりをすすめてまいりました。おかげさまで発足から53年、当時500人足らずの組合員は、現在40万人を超えました。

2023年度は、新型コロナが5類に引き下げられ、新しい日常がはじまる中での事業展開となりましたが、組合員の皆さまのご利用に支えられ、経常剰余高は予算・前年を超過し、今年度も組合員還元・出資配当をさせていただくことができました。心から感謝申し上げます。

平和を脅かす戦禍の広がり、「地球沸騰化時代」と呼ばれるまでに

なった気候変動や多発する自然災害、少子高齢化・人口減少、貧困・格差の拡大、自給率低下や食品ロス・環境問題など、私たちは沢山の課題に直面しています。

「いばらきコープ 社会福祉政策」に基づき、組合員の生涯に関わることができる生協を目指し、総合力を発揮し SDGs の実現に向け、協同組合間連携や行政・地域とつながり、直接触れあう関係を大切に、課題・暮らしの困りごとを解決する地域共生社会の一翼を担います。

そして、国連が決議した2025年の「国際協同組合年」を価値あるものにするために、日本生協連・コープデリ連合会・県生協連・協同組合ネットいばらきなどとともに「協同組合の貢献に対する認知を高め」、「社会の協同の文化を創造していく」ための具体的な取り組みをすすめてまいります。

本年度は新たな「ビジョン2035」を策定しました。2035年に向け、『食べるしあわせ、自分らしいくらし「ともに」の力で、笑顔の明日を』の実現を目指して、組合員のくらしに貢献し、地域から信頼される存在となるため、さらに奮闘してまいります。

今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月12日
いばらきコープ生活協同組合
代表理事 理事長 木村 千秋

通常総代会の詳細は 中面2～3ページをご覧ください ▶▶

7月6日(土)は「国際協同組合デー」 今年は第102回を迎えます



「国際協同組合デー」とは…毎年7月の第一土曜日として国際連帯と世界平和を願い、協同組合への認知を高めることを目的に、世界の協同組合が毎年取り組んでいるものです。

2024年の国際協同組合デーのテーマ

“協同組合はすべての人によりよい未来を築きます”

国際協同組合デーは、協同組合への認知を高め、協同組合運動の理念を広めることを目的に、ICA（国際協同組合同盟）の呼びかけのもと世界の協同組合が毎年取り組んでいるものです。この日は協同組合にとって、持続可能な未来づくりに向けた現在と過去の貢献を紹介し、2030年までに持続可能な開発目標（SDGs）を実践するための取り組みを加速させる機会となります。

茨城県では「協同組合ネットいばらき」が2013年に誕生し、いばらきコープをはじめとする県内の生協やJA、漁協など47団体が参加しています。異種の協同組合が連携することで、協同組合の価値や現代社会で果たしている役割などについて広くPRを行うとともに、県内における協同組合運動を促進させていくための事業を行っています。取り組みの内容として、食料支援活動応援や協同組合学習会、茨城大学での講座の開講（協同組合論、大学生と消費生活など）、ピースアクション、健康づくりチャレンジ、協同組合マルシェ、みまもりネットワーク、広報活動、各種ボランティア活動などがあります。

